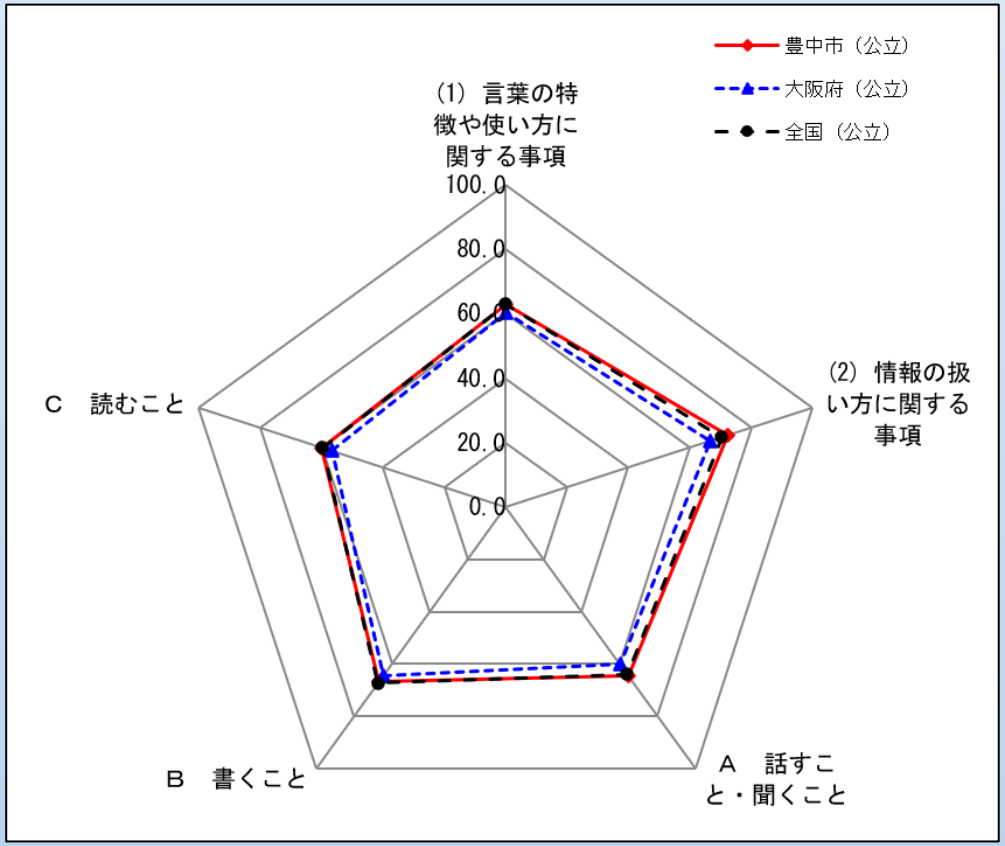
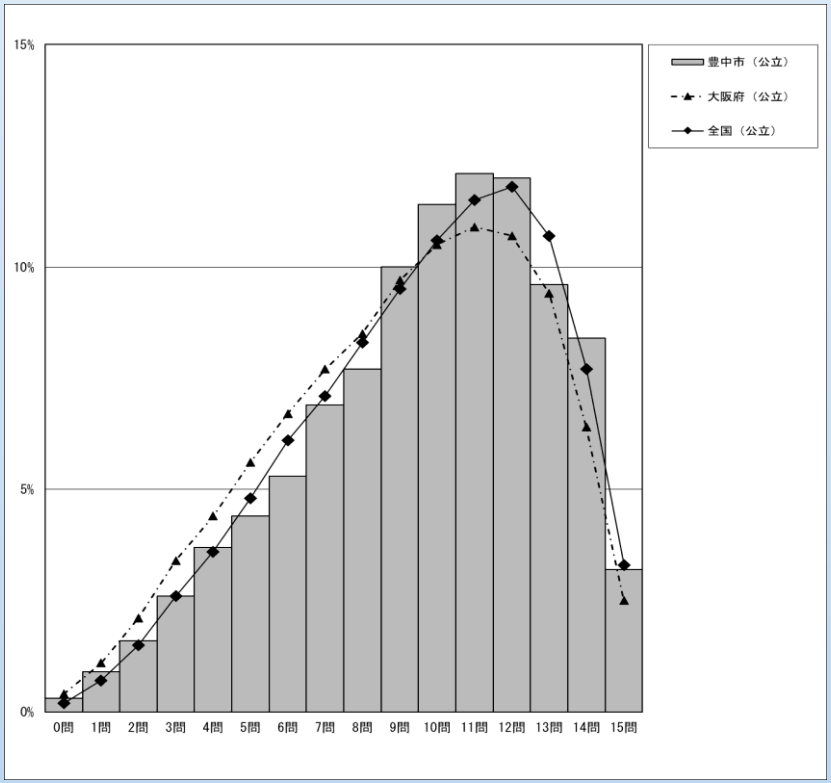
中学校
国語

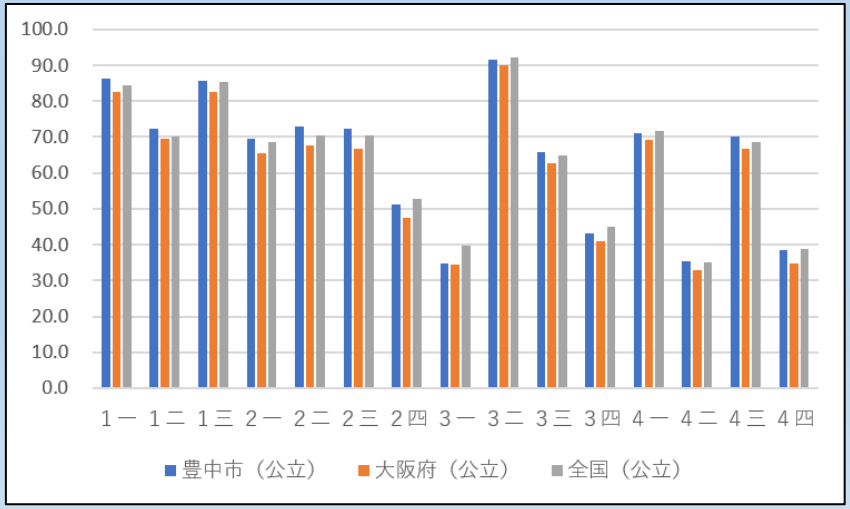
【学習指導要領の内容の平均正答率（%）】



【国語　正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）】



【国語　正答率（%）【設問ごと】（横軸：設問、縦軸：正答率）】





- 話し合いの内容を整理しながら必要な情報を捉える問題は比較的できています。（2二）
- 文章を読んで理解したことを基に、自分の考えを表現する問題に課題があります。（4四）

中学校
国語

【問題別集計結果】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）	豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
１一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	86.3	82.6	84.3	0.2	0.2	0.2
１二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	72.3	69.5	70.2	0.3	0.3	0.3
１三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の活用について理解しているかどうかをみる	85.6	82.4	85.4	0.3	0.3	0.2
２一	発言について説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	69.5	65.5	68.5	0.4	0.3	0.3
２二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる	73.0	67.6	70.4	0.2	0.3	0.3
２三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	72.4	66.8	70.4	0.4	0.5	0.4
２四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる	51.1	47.4	52.7	16.7	18.9	14.7
３一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する（とる）	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	34.9	34.4	39.8	0.2	0.4	0.3
３二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる	91.5	90.1	92.3	5.7	6.6	4.8
３三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる	65.7	62.7	65.0	0.4	0.5	0.5
３四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる	43.0	40.8	45.0	12.6	13.8	10.7
４一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる	71.2	69.2	71.6	0.8	0.8	0.7
４二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	35.3	32.9	35.2	19.4	21.9	19.8
４三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる	70.2	66.7	68.7	1.0	1.0	1.1
４四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる	38.4	34.6	38.9	18.7	21.4	18.6

豊中の子どもたちの
強みが見られた問題

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題



中学校
国語

【問題番号】4四

豊中の子どもたちの課題が見られた問題

【正答率】38．4%　（豊中市）
34．6%　（大阪府）
38．9%　（全　国）

【出題の趣旨】
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる。

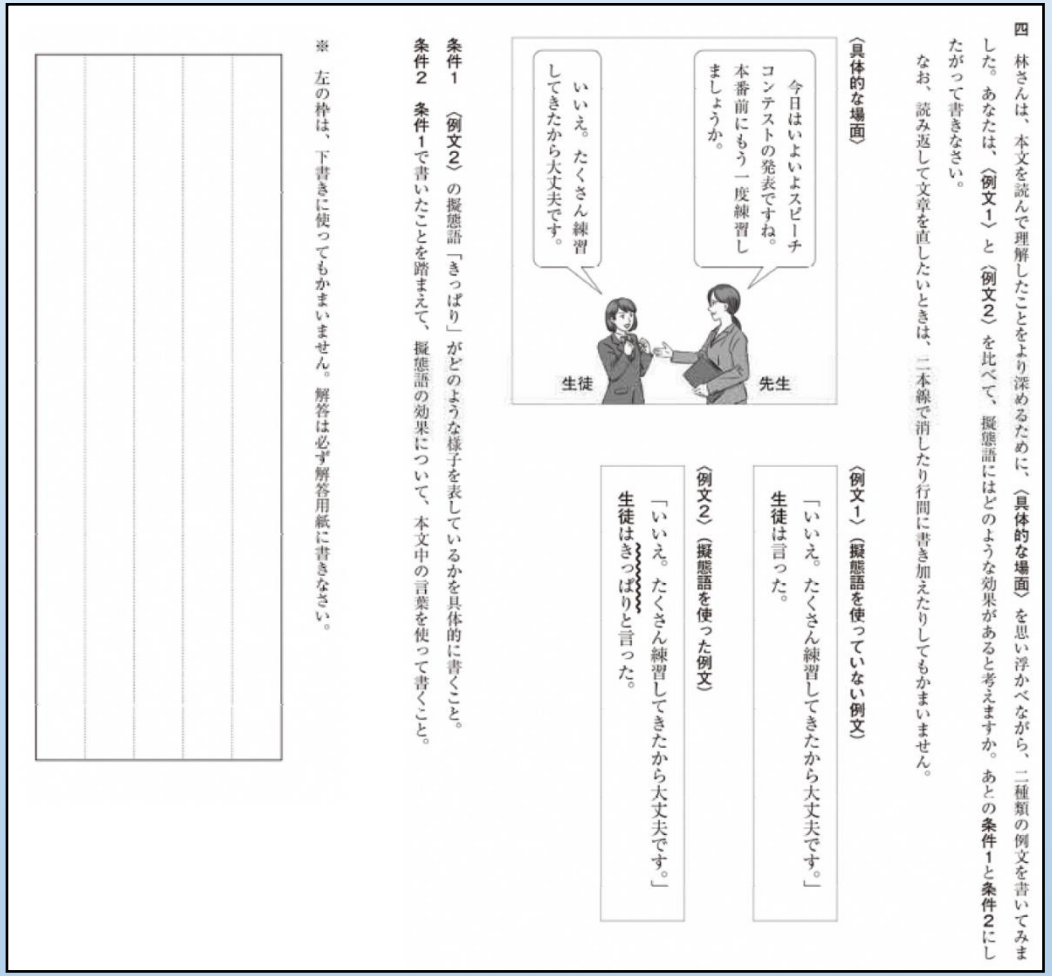


― ここがポイント ―

文章を読んで自分の考えを確かなものにするには、内容を理解するだけでなく、具体的な場面を思い浮かべながら、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」で得た理解と結び付けて考えることが大切です。また、文章の大まかな内容への感想にとどまらず、自分がどのように内容を捉え、根拠を基に解釈したのかを振り返り、その妥当性を確かめながら考えを形成していくことが重要です。

【正答の条件】
次の条件を満たして解答している。
① 〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書いている。
②「きっぱり」について考えたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書いている。

【正答例】
- 「きっぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。
- 「きっぱり」は生徒が自信を持っている様子が伝わる。擬態語を使うことによって、様子をありありと映し出すことができる。



四　林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、〈具体的な場面〉を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみました。あなたは、〈例文1〉と〈例文2〉を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈具体的な場面〉

〈例文1〉〈擬態語を使っていない例文〉
「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

〈例文2〉〈擬態語を使った例文〉
「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきっぱりと言った。

条件1　〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。
条件2　条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

※　左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
◎	条件①、②を満たして解答しているもの	**38．4**	**34．6**	**38．9**
	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	35．8	36．2	35．1
	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	2．6	2．7	2．5
	上記以外の解答	4．5	5．2	5．0
	無解答	18．7	21．4	18．6

中学校
国語

【問題番号】2二

豊中の子どもたちの
強みが見られた問題

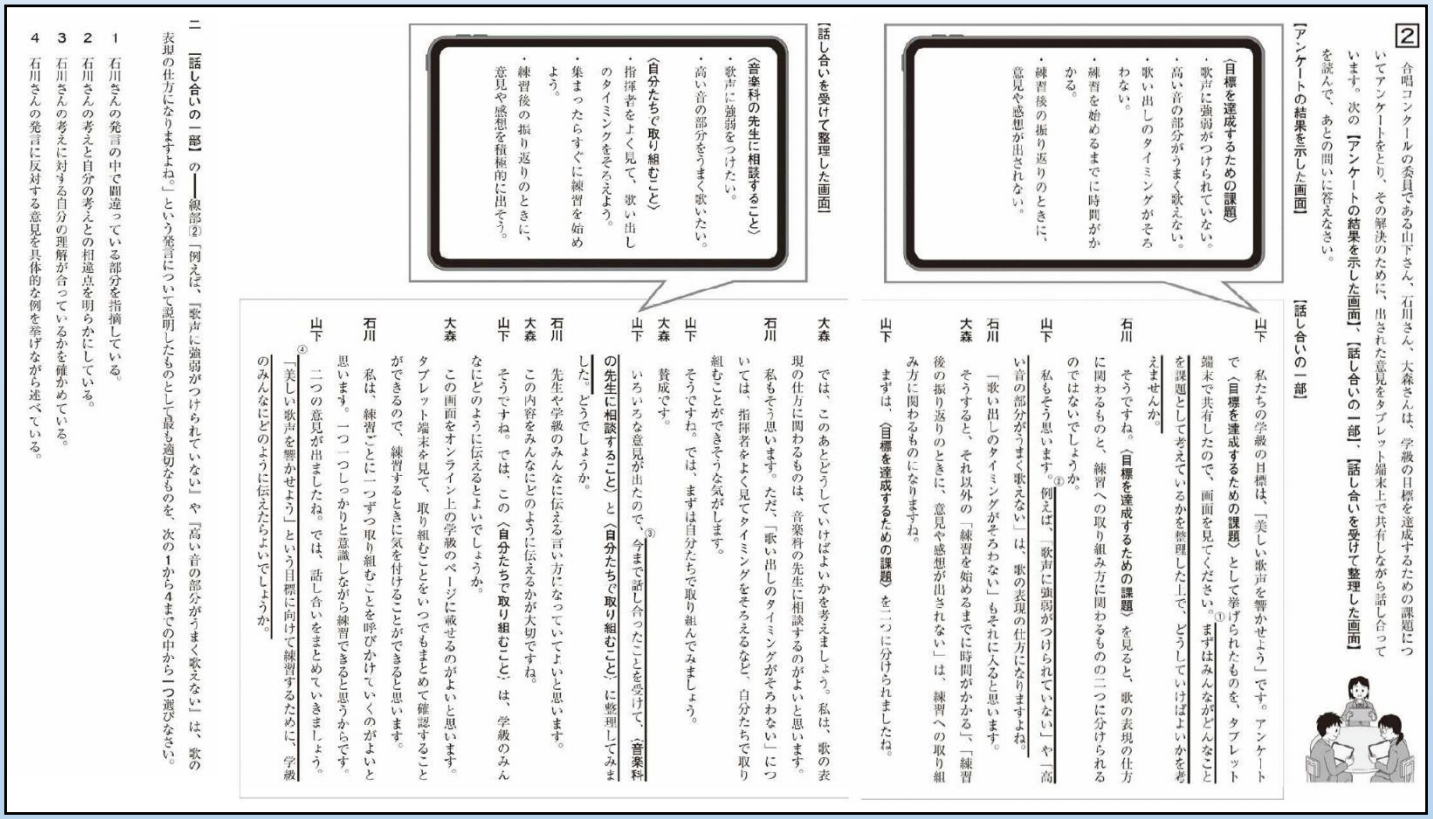
【正答率】７３．０％　（豊中市）
６７．６％　（大阪府）
７０．４％　（全　国）

【出題の趣旨】
必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる。



― ここがポイント ―

話の内容を正確に理解するためには、目的や状況を意識しながら聞き、必要に応じて分からないことや確かめたいことを質問することが大切です。質問は話の途中や終了後など適切な機会を選び、話し手の意図を確かめたり不足している情報を聞き出したりするなど、目的に応じて効果的に行います。また、ICT 機器で話合いの様子を記録し、その記録を活用して質問の仕方や聞き方を振り返ることも有効です。



２　合唱コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題についてアンケートをとり、その解決のために、出された意見をタブレット端末上で共有しながら話し合っています。次の【アンケートの結果を示した画面】、【話し合いの一部】、【話し合いを受けて整理した画面】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【アンケートの結果を示した画面】

〈目標を達成するための課題〉
・歌声に強弱がつけられていない。
・高い音の部分がうまく歌えない。
・歌い出しのタイミングがそろわない。
・練習を始めるまでに時間がかかる。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない。

【話し合いの一部】

山下　私たちの学級の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで〈目標を達成するための課題〉として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。①まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。

石川　そうですね。〈目標を達成するための課題〉を見ると、歌の表現の仕方に関わるものと、練習への取り組み方に関わるものの二つに分けられるのではないでしょうか。

山下　私もそう思います。②例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。

大森　「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ると思います。

石川　そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に関わるものになりますね。

山下　まずは、〈目標を達成するための課題〉を二つに分けられましたね。

【話し合いを受けて整理した画面】

〈音楽科の先生に相談すること〉
・歌声に強弱をつけたい。
・高い音の部分をうまく歌いたい。

〈自分たちで取り組むこと〉
・指揮者をよく見て、歌い出しのタイミングをそろえよう。
・集まったらすぐに練習を始めよう。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想を積極的に出そう。

大森　では、このあとどうしていけばよいかを考えましょう。私は、歌の表現の仕方に関わるものは、音楽科の先生に相談するのがよいと思います。

石川　私もそう思います。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」については、指揮者をよく見てタイミングをそろえるなど、自分たちで取り組むことができそうな気がします。

山下　そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。

大森　賛成です。

山下　いろいろな意見が出たので、③今まで話し合ったことを受けて、〈音楽科の先生に相談すること〉と〈自分たちで取り組むこと〉に整理してみました。どうでしょうか。

石川　先生や学級のみんなに伝える言い方になっていてよいと思います。

大森　この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下　そうですね。では、この〈自分たちで取り組むこと〉は、学級のみんなにどのように伝えるとよいでしょうか。

大森　この画面をオンライン上の学級のページに載せるのがよいと思います。タブレット端末を見て、取り組むことをいつでもまとめて確認することができるので、練習するときに気を付けることができると思います。

石川　私は、練習ごとに一つずつ取り組むことを呼びかけていくのがよいと思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できると思うからです。

山下　二つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましょう。④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。

二　【話し合いの一部】の――線部②「例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

１　石川さんの発言の中で間違っている部分を指摘している。
２　石川さんの考えと自分の考えとの相違点を明らかにしている。
３　石川さんの考えに対する自分の理解が合っているかを確かめている。
４　石川さんの発言に反対する意見を具体的な例を挙げながら述べている。

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
	１　と解答しているもの	2.5	3.4	2.6
	２　と解答しているもの	9.1	11.8	10.8
◎	３　と解答しているもの	**73.0**	**67.6**	**70.4**
	４　と解答しているもの	15.2	16.8	15.9
	上記以外の解答	0.0	0.0	0.0
	無解答	0.2	0.3	0.3



※この調査の結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。